



本校は令和5年度より、学校運営協議会制度（コミュニティ・スクール）を導入し、「社会に開かれた教育課程の実現」に向け、より一層、地域との連携に取り組んでいきます。

今年度は第1回学校運営協議会（福士貴博校長を含め7名の委員と教職員6名が参加）を5月19日（火）に実施しました。福士校長から今年度の学校経営方針の説明があったのち、本校のスクール・ミッションにある「グローバル社会を牽引する人財の育成」を熟議テーマとすることを決め、昨年度取り組んできた熟議テーマに関する具体的な課題について報告と質疑応答を行いました。



《熟議テーマの具体的な課題について》 昨年度の成果についての報告

- ①国際交流・異文化体験プログラムの開発
- ②学校DX化の推進
- ③「弘高ねふた」の持続的な体制づくり
- ④「探究」指導体制の確立
- ⑤その他 PTAの在り方
部活動改革の方向性と在り方



～委員からの御意見、御質問～

グローバル人材育成のために、絶対に海外に行って話をして感じてきた人の方が、行かない人よりも何倍も自分の人生になるわけですから、学校側からの資金面での提案をどんどんしてほしい。

海外研修に去年参加した生徒が、1、2年の生徒に伝える機会や手段を高校の方で設けてほしい。また、日常から英語を使って交流できる場があれば、海外研修プログラムの参加が高まるのではないかな。

本来中心市街地と言われてきた土手町が、なぜこうなったのか、これから、自分たちが中心になって盛り上げていく方法がないか探究活動に繋げてほしい。

ICTが不得手な先生方の対策として、他校の取組とか、前に向かっていくためのヒントとなるようなものをご存じの方がいれば、お伺いしたい。

教員も生徒もメンタルヘルスに対する学びだったり、気づきだったり、それに対する対応だったりという視点でどういふふうに取り組んでいくべきか考えてほしい。

ICTを活用していく中で、今までやってきたことのコストや時間の部分を効率化していくというものと新たな価値を創出していくものの2つで整理すると、より取り組みを整理しやすいですし、今後何をしていけばよいかわかりやすいのかなと思いました。

次回の学校運営協議会は、7月中旬に実施の予定で、生徒のねふた制作の様子を見学したのちに、協議をしていきます。